



地域活性化事業 落語イベント

南大塚ホールで落語ごんまい

3月13日(土)

13:30 開場 / 14:00 開演

落語通の方から初心者の方まで、若手落語家の口演とトークショーでお楽しみください。

【出演】春風亭昇々、入船亭小辰、春風亭一花、宮信明(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)

【会場】南大塚ホール

【料金】無料

【定員】50名(全席指定) ※当館指定のお席になります。

【問合】南大塚地域文化創造館

【締切】2/19(金) 必着

【申込方法】

●往復ハガキ(63円切手貼付・1通につき1名)にて

①公演名 ②〒住所 ③氏名(ふりがな) ④電話番号をご記入の上、南大塚地域文化創造館に送付。

●当館ホームページ、イベントページのフォームからもお申込み可能。

※窓口、お電話でのお申し込みは不可。応募多数の場合は抽選。

※本イベントの開催にあたり、新型コロナウイルス感染症対策を実施しております。ご来場の皆様もご協力をお願いいたします。
なお、やむを得ずイベントを中止にする場合がございます。あらかじめご理解ください。



春風亭 昇々



入船亭 小辰



春風亭 一花

おしらせ

令和2年度第2回利用者懇談会の中止について

1月29日に開催を予定していた令和2年度第2回利用者懇談会について、緊急事態宣言を受け中止致しました。ご出席の回答を頂いていた優先団体の皆様には、当日ご説明予定であった内容について、順次書面にてお知らせいたします。書面の内容についてご質問等ございましたら、当館職員までお知らせください。

コラム

館長の執務日誌

南大塚地域文化創造館・久保館長がつづる、当館&大塚周辺にまつわるあれやこれやのコラムです。

今年の立春は2月3日。暦の上で一日早いというのは124年ぶりだそうです。立春と言えば「梅に鶯(ウグイス)」という図柄が浮かんできます。花札のイメージです。会館の植木にもウグイス色の小鳥が飛んできます。

皆さん、御存知かと思いますが、梅の花の蜜を吸いに来るのは『メジロ』という野鳥です。私が会館の玄関先で見たのもメジロでした。ほとんどが番(つがい)で仲むつまじく枝の間を動き回り、春の訪れを感じさせてくれます。

鶯はやぶの中で虫などをついばみ、街中ではなかなか見ることができません。色鮮やかな「うぐいす餅」もメジロの色で、JIS規格の「ウグイス色」は「くすんだ黄緑≒オリーブグリーン」という本家の色なのだそうです。ここまで館長日誌を書いていて、ふっと思いました。「梅に鶯」「花札」「うぐいす餅」「ウグイス色」…若者にわかるの? イメージできる皆さんは昭和の生まれ!?

立春が一日早いというのに、青春という春は随分遠くに行ってしまいました。(そう思うのは私だけ?)

